第2回日本肥満症治療学会学術集会 市民講座

「実は身近な肥満症治療」

――患者さんといっしょに考える――

日　時　2009年**7**月**11**日（土）PM16:00～18:00

場　所　ニッショーホール（日本消防会館）

東京都港区虎ノ門２丁目９－16　TEL 03-3503-1486

参加無料!

裏面に必要事項をご記入のうえ、FAX にてお申し込みください。

メタボリックシンドロームを放置しておくと“肥満症”のリスクが高まることはよく知られています。肥満症の治療には、食事や運動、お薬や外科手術によるものなど、さまざまなアプローチがあります。しかし、どれを選択するかについては、医療者と患者さんが十分に話し合い、最適な方法を選択することが重要です。この市民講座では、肥満解消のポイントを会場の皆さんとともに考えてみたいと思います。

第２回日本肥満症治療学会学術集会　会長　**佐々木　巖**

プログラム

1. 基調講演：「いろいろな方法で肥満解消！」――坂根直樹（京都医療センター）
   「食事で肥満解消！」――本田佳子（女子栄養大学）
   「運動で肥満解消！」――田中喜代次（筑波大学）
   「外科手術で肥満解消！」――笠間和典（四谷メディカルキューブ）
2. パネルディスカッション：【司　会】佐々木巖（東北大学）、門脇孝（東京大学）【パネリスト】坂根直樹、本田佳子、田中喜代次、笠間和典
   【患者代表】KONISHIKI、ほか

特別ゲスト

120kg超の大幅減量!

元大関・KONISHIKIさん

KONISHIKI さんは、“ガストリックバイパス術”という胃を小さくする手術を 2008 年に受けられました。当日は患者さんの代表としてご発言いただきます。

主催：日本肥満症治療学会

後援：日本医師会